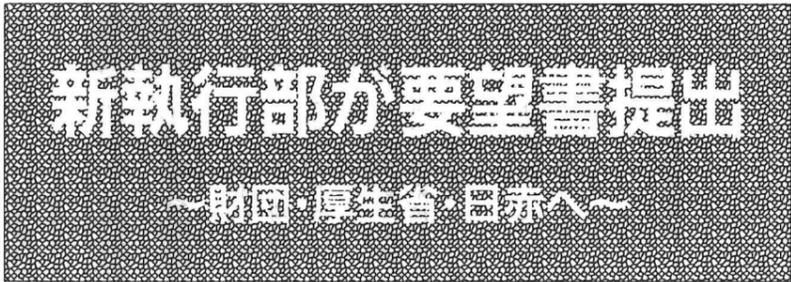


# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒130 東京都墨田区  
東駒形1-16-7  
第1ホークプラザ303号  
TEL.(03)3625-7307  
発行責任者  
運営委員長 渡辺孝一

郵便振替口座  
東京 5 - 15754  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655



日本赤十字社本社にて

全国協議会も執行部が一新して約一ヵ月、今年度の基本活動方針を要望書として、渡辺運営委員長をはじめとする四名が七月十六日、厚生省、



高久副理事長を囲んで

日本赤十字社本社、骨髄移植推進財団へ提出しました。まず最初に訪れた日赤では加山泰士血液事業部長に要望書を提出し、その後担当課長課員の方々と懇談しました。渡辺運営委員長より要望に対して回答がいただきたいと申し入れましたが、財団と毎月検討会を開いているので、財団から回答をもらって下さ

### 日赤へ

- 一、骨髄アトセンター登録検査体制の充実
- イ、登録検査日を拡大してください。(平日検査日の拡大、土日検査の実施)
- ロ、登録採血受付場所を拡大してください。(献血ルーム、出張所等での実施)
- ハ、遠隔地及び職場単位での出張採血登録を実施してください。

### 厚生省へ

- 一、骨髄移植推進財団に対する補助金の大幅な増額
- イ、骨髄バンク事業の主体である(財)骨髄移植推進財団の財源は乏しく、円滑なる普及啓発、コーディネート等がなされないう状況が危惧されて、財団への補助金の大幅な増額を至急実現してください。
- ロ、継続的な資金支援体制を、民間企業に増額を至急実現してください。
- ハ、日本赤十字社への補助金の拡充を計ってください。
- 二、普及啓発体制の確立
- イ、財団、財団、地方自治体の役割分担、費用分担を明確にし、相互の協力推進体制を確立してください。
- 三、骨髄移植医療体制の充実
- イ、骨髄移植関連の医療保険点数を改善してください。特に無菌室看護加算および骨髄移植の点数の改善を早急に実現してください。
- ロ、全国各地域に骨髄移植センターの開設を計ってください。現状の移植医療施設では、今後ドナーの増加に伴う施設不足が問題化することは明白である。
- ハ、既存の休眠無菌室の使用を指導してください。
- 四、登録検査体制の充実
- イ、登録検査日の拡大(平日検査日の拡大、土日検査の実施)で日本赤十字社を指導してください。
- ロ、登録採血受付体制の拡大のために、各都道府県保健所の活用について検討してください。
- 五、ドナー休暇の実施
- イ、ドナー休暇が全国で施行されるように、各地方自治体、民間企業へ働きかけを行ってください。

### 財団へ

- 一、財団の財政的基盤の確立
- イ、国に対し、貴財団への補助金を大幅に増額するよう働きかけをしてください。
- ロ、民間企業などの継続的な支援体制を作る働きかけをしてください。
- 二、普及啓発体制の確立
- イ、財団、地方自治体のボランティア団体の役割分担、費用負担などを明確にし、相互の協力体制を早急に確立してください。また、ポスター、パンフレット、啓蒙パネル、啓蒙ビデオ等は、普及啓発に必要な数を用意してください。
- ロ、民間企業・個人・ボランティア等の自由な発想を取り入れるとともに、積極的に登用を進め、効果的な宣伝、募集体制を作ってください。
- 三、コーディネート体制の確立および人権の確保
- イ、最終同意確認では第三者(弁護士等)の立合を制度化してください。
- ロ、骨髄採取病院の指定では、移植病院とは別な基準により行ない、ドナー健康被害を出さない体制をつくってください。
- 四、ドナーの負担軽減策の実施
- イ、二次検査の旅費を支給してください。
- ロ、民間企業ヘッドナー休暇制度を要請してください。
- 五、骨髄移植医療体制の充実
- イ、骨髄移植関連の医療保険点数の改善を、国に働きかけてください。
- ロ、全国各地域に骨髄移植センターが開設されるように国に働きかけて下さい。
- 六、登録検査体制の充実
- イ、登録検査日の拡大(平日検査日の拡大、土日検査の実施)で日本赤十字社と討議してください。
- ロ、登録採血受付体制の拡大のために、各都道府県保健所の活用について国と協議してください。

りでしたが、私たちの話に真剣に耳を傾け、様々な問題点について意見をかわしました。骨髄バンクでの移植を推進するため、全ての病院に協力してくれるように要請していきたいと語ってくれました。

## 9月11・12日は横浜へ！ 設立3周年 記念大会

全国骨髄バンク推進連絡協議会が現体制になって満三周年を迎えました。これを記念して来たる九月十一日と十二日に横浜で、記念大会とチャリティコンサートを開催することになりました。

この催しを主管するのは神奈川県骨髄移植を考える会ですが、関東各都県の加盟団体も全面的な協力をするにたっており、すでに今年初めから準備が進められていました。

九月十一日には午後一時から横浜山下公園前の神奈川県民ホールに記念式典がひらかれます。記念式典には海部幸世会長をはじめ、多くの来賓がお見えになることになっていきます。式典後には記念講演が行われます。基調講演はエッセイストの大石邦子さんによる「生きる」と題した感動的なお話を聞けることになりました。それに引続いて、骨髄移植体験者たちの集い、「よみがえった私たちが今思うこと」が語り合われます。是非多くの皆さんにお聞き頂けたらと思います。



伊勢正三さん

また九月八日・十二日まで横浜そごう地下二階の横浜駅連絡通路広場で、骨髄バンクパネル展がひらかれます。新しくできる5枚組の骨髄バンクパネルをはじめ、骨髄バンクを応援してくれている著名人のメッセージの入ったパネルも数多く展示されることになっていきます。

### チャリティコンサート

翌十二日には横浜駅東口の横浜そごう九階の新都市ホールで午後二時よりチャリティコンサートが開催されます。出演者は元「かぐや姫」の伊勢正三さんが全国協議会ボランティアの運動に賛同されて、久しぶりに「なごり雪」や「22才の別れ」などのヒット曲を披露してくれることになっています。このコンサートは伊勢さんに加え、今話題のバイオリニスト中西俊博さんとのアコースティック・ジョイントコンサートです。どうぞお楽しみにしてください。

- 著書 大石邦子さん「エッセイスト、歌人」
- 昭和36年 福島県立会津女子高卒業
- 昭和39年 通勤途上のバス事故で半身麻痺となる
- 昭和42年 下半身と左上肢弛緩性麻痺に進展、不治の宣告を受ける
- 昭和43年 カトリックの洗礼を受ける
- 昭和46年 退院して熱海市にて療養
- 昭和51年 自宅に戻り車椅子の生活で今日に至る
- 受賞 福島県出版文化賞・芸術祭大賞
- 著書 福島県出版文化賞・福島県文学賞ほか
- テレビドラマ原作賞・この生命ある限り・この愛なくば・この胸に光は消えず(以上講談社文庫)ほか多数



あなたに、情報のちから。

驚くような事実も、社会を大きく変えるような発明・発見も、そこに心を動かされる人がいなければ、きっと世界の片隅に埋もれていただろう。語り継ぐ人がいて、形にする人がいて、事実は始めて情報になる。そして遙かな時を超えて出会い、つながり、新たな進化を遂げる。歴史は、情報の物語。私たちは、そこに何をみいだし、どのような形にして、次の世代へ語り継いでゆけばいいのだろうか。NTTグループは電気通信の技術とノウハウをベースに、様々な産業分野に多彩な事業を展開しています。あなたが求める情報のちからを、あなたが求めるシーンに。未来へ語り継ぐべき物語を確実に形にしていきます。

NTTグループ

# 各地のたより

各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せ下さい。

## 北海道 北の国から近況報告 好評！大石邦子さんの講演

七月九日、札幌市道新ビルで「骨髄バンクの集い」を開催しました。一二〇名の参加者があり、大石邦子さんの講演に多くの方が感動しました。九月十一日の全国記念大会でも大石さんの講演がありますので楽しみにして頂きたいと思っております。  
また七月十二日には札幌市下水道局の労働安全委員会に北海道骨髄バンク推進協会の

## 埼玉 市町村、保健所の 担当者を対象に講習会

七月十四日、県主催、埼玉連絡会協力による「埼玉県民講習会」が県民健康センターで開かれました。  
会場には、県内の市町村、保健所の担当者や県民だよりで知った一般参加者など、約百名が参加。  
バンク事業について、財団、地方データセンター、県、ボ



講習会開催の様子

## 栃木 県内で初シンポ

六月十九日、栃木県で初めてのシンポジウムが自治医科大学病院の講堂で開かれました。  
これは、県内医療関係者とボランティアによる実行委員会が主催したもので、会場には約二百名の参加者で埋まりました。  
パネルディスカッションは、国のバンク一号の提供者や二人の移植経験者が登場し、それぞれ貴重な経験を述べました。  
実行委員会では、これを機にボランティア団体の結成を促すことを目指して、と抱負を語っていました。



シンポジウム開催の様子

## 静岡 設立一周年総会開催

静岡県骨髄バンクを推進する会は、昨年四月の発足から一年が経過し、四月二十九日に設立一周年の第二回総会を開催しました。  
本年度は、行政・医療機関・日本赤十字社・そして我々ボランティアも含めた静岡県骨髄移植推進協議会がスタートし、互いに協力しあって骨髄バンク事業を支援する体制が整いました。  
ピラ配布、シンポジウムの



総会開催の様子

## 長野 高校生と 骨髄バンク

つばさの会では長野県内の

### ★新刊の御案内 「骨髄移植の現場から」

野村正満・編



日本でも最先端で活躍する骨髄移植のトップ臨床医をはじめ、末梢血幹細胞移植・再生不良性貧血の治療・化学療法など最先端の血液内科医たちが講師として登場し、一番ふさわしい治療法の選択について発表がありました。本書は去年開催された「フォーラム骨髄移植を学ぶ」での講演をもとにまとめられました。更に日本の骨髄バンクの現状と課題についても重要な指摘が行われています。

骨髄バンクの稼働で安易な非血縁者間骨髄移植について目が向かちがちな今、本は大きな注釈の書であるように思います。尚、編者の野村正満さんは東京の会の代表です。  
(海鳴社刊・千七百円)

### 全米骨髄バンクの CML移植成績発表

全米骨髄バンクによる非血縁者間の慢性骨髄性白血病(CML)患者への骨髄移植成績が発表になりました。これは一九九〇年十一月までに行われた一九六例の移植に対するものです。  
二年生存率では発病から初回慢性期で一年以内の移植で45%、一年以後の移植で36%、二回目の慢性期で27%、移行期が22%、急性転化期が0%でした。

全部で百六名が死亡していますが、患者全体の三分の一はHLA完全一致ではないミスマッチの移植でした。そうした事実を重ね合わせると、移植以外に完治の道がないCML患者にとっては素晴らしい成績であると言えることができると思います。(資料：九州骨髄バンクだより)



クへの理解がずっと浸透してきました。  
七月十八日には伊那弥生ヶ丘高校二年D組の皆さんと座談会を持ちましたが、皆さん真剣な目で聴いてくれました。  
若い人たちが無関心世代と云われていますが、深いところまで物事を考えているのがわかり、つばさの会のメンバーもいろいろと考えさせられるところがあると感じました。

頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシャクシャ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まつ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。

生命をつなぐ骨髄バンクの実情！  
生命をください！  
ポランテアを待つ患者と家族の叫び、ポランテアと医療従事者の活躍！  
必要で十分な情報を網羅した好著！  
定価1,700円  
遠藤 允 講談社

## 検査済骨髄提供希望者 都道府県別登録件数表 (平成5年6月末現在)

北海道	1,853
青森	198
秋田	187
岩手	87
宮城	454
福島	81
茨城	378
栃木	356
群馬	359
埼玉県	289
千葉県	630
東京都	726
神奈川県	5,085
新潟県	1,523
富山県	646
石川県	104
福井県	177
山梨県	73
長野県	108
岐阜県	376
静岡県	425
愛知県	864
三重県	1,620
滋賀県	362
京都府	326
大阪府	896
兵庫県	1,455
奈良県	652
和歌山県	209
鳥取県	78
島根県	49
岡山県	118
広島県	459
徳島県	787
香川県	254
愛媛県	95
高知県	99
福岡県	144
佐賀県	111
長門県	1,115
熊本県	181
大分県	215
宮崎県	246
鹿児島県	130
沖縄県	158
合計	266
未登録	149
合計	25,153

中央骨髄データセンター登録状況

登録内容	人数
1次検査実施済登録者数	25,153
2次検査依頼登録者数(1次適合)	14,848
2次検査実施済登録者数	10,106
登録受け付け患者数	1,149
2次適合患者数	486
2次適合登録者数	1,282

平成5年7月10日現在

心からのご寄付を  
ありがとうございました  
6月28日～7月21日まで  
陽田秀夫 現金 100,000  
小原恵子 切手 1,240  
菊地清香 切手 1,620  
船橋佳代 切手 2,448  
阿原一良 現金 10,000  
大衆割烹 大漁 切手 1,785  
(順不同 敬称略)  
活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
東京 5-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会